

---

---

クリエイティブ飛鳥  
未来への風プロジェクト  
Creative asuka. "KAZE" project to the future

---

---

「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2020年度 実施報告書

発行日：2021年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL：0744-54-3636 FAX：0744-54-4647

2020年度 実施報告書

## Creative飛鳥・未来への風プロジェクト 第7回「明日香の匠展」の開催に寄せて

このたび、第7回「明日香の匠展」をコロナ禍のさなかに関わらず、関係者のご努力によって開催できたことを、皆様方そして明日香にゆかりのある作家たちと伴に慶びたいと存じます。

昨今の世相にはこころ憂うものが多々ありますが、いにしへの飛鳥の時代にも疫難があり、人々が困難に立ち向かう気力によって今日があると考えています。

この「明日香の匠展」は、うまし風土の明日香を深く耕し、新たな種子を播きながら未来に向かって古都飛鳥から芸術文化を発信し、育てようという試みから始まりました。

今回の展示には、明日香ゆかりの作家たち36名が参加し、日頃の研鑽と古代から現代に脈々と続く飛鳥文化の創造を具現して、出展しています。その内訳は、村内作家28名、村外作家8名で、そのうち新規出品作家は5名です。また、平面部門28名・立体部門8名で、総出品点数は55点になりました。観覧者は、密を避け外出制限にも関わらず昨年より微増し、約1900人の来場者となり、盛んな芸術談義のなかで温かい励ましのお言葉も多く頂き、作家の制作意欲をさらに鼓舞することができました。

飛鳥の世界遺産登録もまもなく具体化するときに、われわれ明日香の匠たちもコロナの国難に立ち向かい、作家魂を発揮して、未来に続いていく「うまし明日香の風土」づくりに邁進していきたいと考えています。

一陽来復という言葉がありますが、今年は、自らの心を耕し、気力を充満して、陰から陽へ転じるようご観覧の皆様とともに念じていきたいと存じます。

この展覧会開催に当たり、奈良県立明日香万葉文化館及び明日香村の関係者のご支援により開催できたことを、厚く御礼申し上げます。

令和3年 梅見月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会  
実行委員長 脇田 宗孝



## Creative飛鳥・未来への風プロジェクト 事業概要

### ■ コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

- (1) 日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、
  - (2) 明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、
  - (3) 次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、
  - (4) 未来志向型の村づくりを実現するために、
- 長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

### ■ 事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

### ■ 実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

共催：奈良県立万葉文化館

後援：明日香村、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、  
公益財団法人古都飛鳥保存財団、一般社団法人飛鳥観光協会

### ■ 実行委員会について

・ 構成メンバー

実行委員長	脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)
副実行委員長	松岡 剛宏(バリトン歌手・明日香村社会教育委員)
実行委員	鳥頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)
実行委員	境山 正甫(明日香村文化協会会長)
実行委員	松村 憲一(奈良県立万葉文化館副館長)
実行委員	田中 祐二(明日香村教育委員会教育長)

・ 事務局／明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)







第7回  
「明日香の匠」展

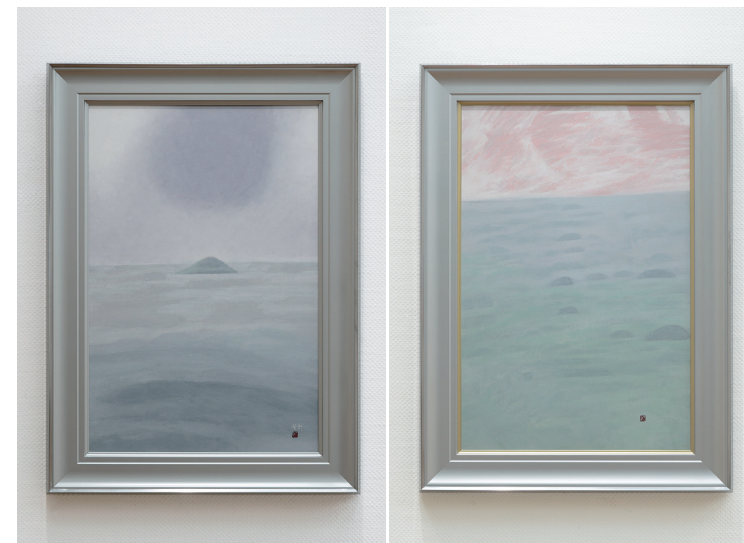
奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

2021.2.6 [SAT] - 14 [SUN] 10:00~17:30(受付 / 17:00まで)

※但し、2月8日(月)は休館

明日香村を拠点に活動する作家36名(公募により選考)による作品展を開催。

■入場料：無料 ■入場者数：1,876名



日本画/鳥頭尾 精(うとおせい)  
「まほろばの景・冬」「まほろばの景・夏」



日本画/鳥頭尾 忠子(うとおただこ)  
「朝陽」「夕暮」





日本画／島田 真澄 (しまだますみ)  
「晩夏の頃」



日本画／東 紀子 (ひがしのりこ)  
「白錦後苑遠望」



洋画／生駒 三恵 (いこまみえ)  
「戌神 (伐折羅大将)」 「アマビエ (疫病退散)」



洋画／奥村 とも子 (おくむらともこ)  
「悠久の風」





洋画／勝川 喜昭 (かつかわ きしょう)  
「明日香の風景」



洋画／勝川 京子 (かつかわ きょうこ)  
「明日香」



洋画／川本 恵 (かわもと めぐみ)  
「明日香路」



洋画／橋 忍 (たちばなしのぶ)  
「アオサギ」「飛鳥美人」





木版画／上田 孝文 (うえだ たかふみ)  
「甘櫃の丘より」「有終の美」



陶芸／竹田 阿野胡 (たけだ あやこ)  
「布目泥彩文様花器〈静〉」「布目泥彩文様壺〈動〉」



陶芸／鈴木 乃り子 (すずきのりこ)  
「八稜組皿」



陶芸／谷口 美佐子 (たにぐちみさこ)  
「白い妖精」





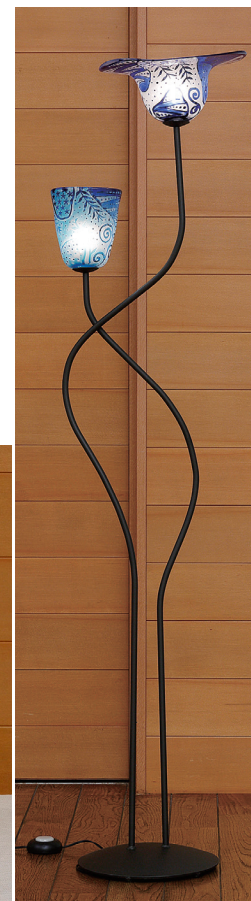
陶芸／西 黎子 (にしれいこ)  
「心模様」



陶芸／脇田 宗孝 (わきたむねたか)  
「金銀彩飛鳥唐草文華壺」 「金彩シルクロード唐草文華壺」



ガラス造形／高橋 直樹 (たかはしなをき)  
「サンドブラストのテーブルランプ」



「フロアースタンド」



ガラス造形／安田 麻里 (やすだまり)  
「お稲荷さんのキツネが村人をばかしに行く話」





楽器製作／折坂 諭 (おりさか さとし)  
「鹿鳴 (村産木材)」



写真／上田 由美子 (うえだ ゆみこ)  
「感謝」「祈り」



写真／上山 好庸 (うえやま よしのぶ)  
「静謐Ⅰ」「静謐Ⅱ」



写真／梅田 耕吉 (うめだ こうきち)  
「黎明」「霧立ち渡る」

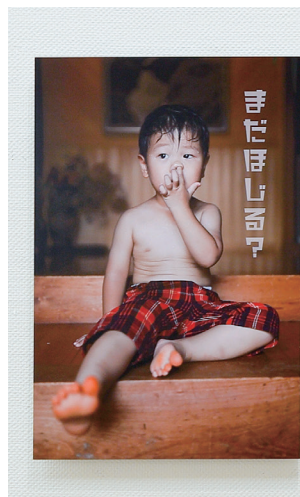




写真／岡本 路子 (おかもと みちこ)  
「朝露に輝く」「秋日和」



写真／白水 泉 (しろうず いづみ)  
「古都暮色」「棚田残照」



写真／島田 真希 (しまだ まき)  
「未来へ！」



写真／森本 富雄 (もりもと とみお)  
「裏方さん (うらかたさん)」「御用済み」





写真／柳 敏明 (やなぎとしあき)  
「異次元」「陽炎」



紙画／中川 愛子 (なかがわ あいこ)  
「白椿」「白い精の詩」



切り絵／森脇 新一郎 (もりわき しんいちろう)  
「飛鳥Ⅰ」「飛鳥Ⅱ」

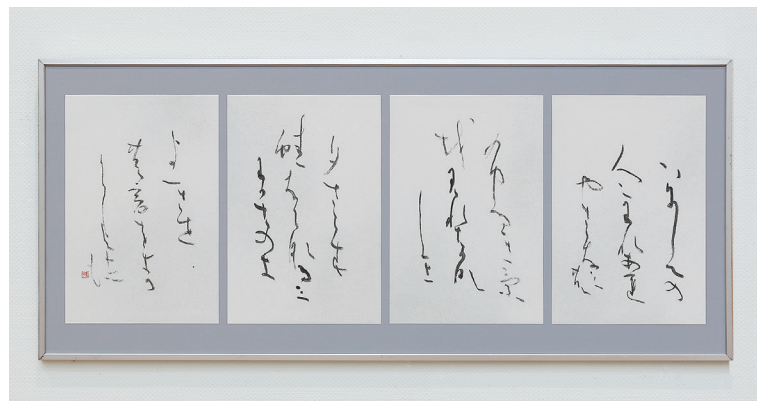


パッチワークキルト／島田 壽子 (しまだとしこ)  
「kaleidoscope (万華鏡)」

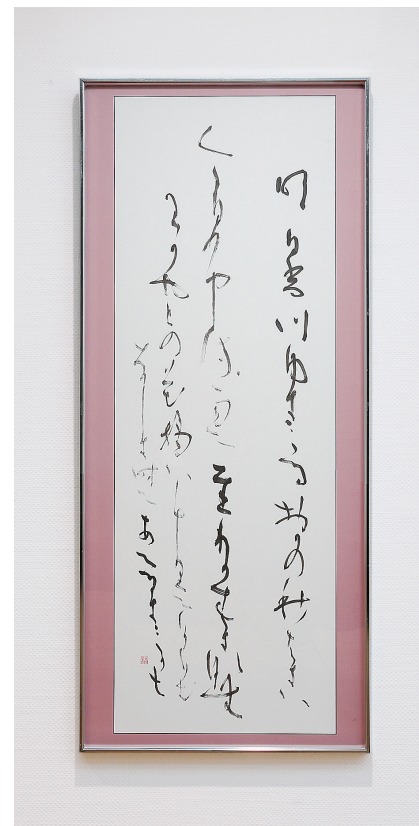




書芸／稲垣 小燕 (いながきしょうえん)  
「沁」



書芸／井上 輝好 (いのうえてるよし)  
「万葉集より二首」



書芸／烏頭尾 南美 (うとおなみ)  
「万葉のあすか」

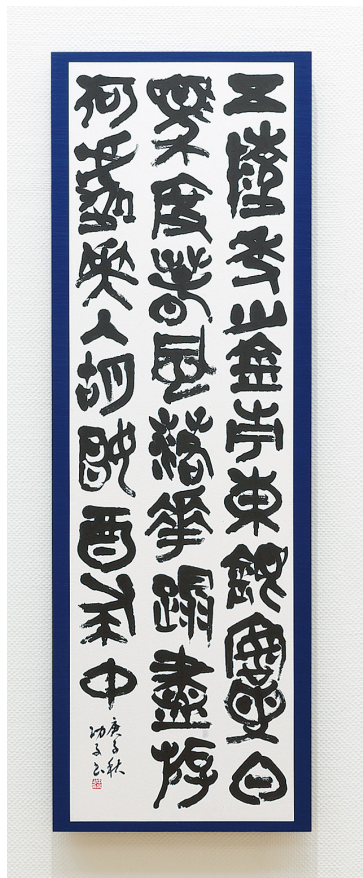


書芸／境山 正甫 (きょうやままさもと)  
「據千字文」 「正甫篆刻」





書芸／鈴木 葩光 (すずきはこう)  
「光風動春 万葉歌」



書芸／中井 功子 (なかいのりこ)  
「李白詩」 「春華秋實」

